



# グローバル EHS - 注意散漫な歩き方と階段 を安全に使用するための基準

## 管理情報

管理項目	詳細
文書番号	TEDSZF665RUJ-2038493890-127
改訂	2
改訂日	2019年10月17日
ECN 番号	101035917
翻訳版文書	<a href="#">英語</a> 、 <a href="#">簡体字中国語</a> 、 <a href="#">繁体字中国語</a> 、 <a href="#">スペイン語</a> 、 <a href="#">イタリア語</a> 、 <a href="#">日本語</a> 、 <a href="#">マレー語</a>

## 目次

1	目的.....	3
2	適用範囲.....	3
3	役割と責任.....	3
4	用語と定義.....	4
5	参考文献.....	4
6	基準.....	5
6.1	注意散漫な歩き方.....	5
6.2	注意散漫な歩き方に関する期待事項.....	5
6.3	手を使わないで操作できるデバイス.....	5
6.4	階段の歩行と手すりに関する要件.....	6
7	付録.....	7
8	資料管理.....	7
9	改訂履歴.....	8

## 表

表 1	内部参考資料.....	4
表 2	外部参考資料.....	4
表 3	改訂履歴.....	8

## 図目次

No table of figures entries found.

## 1 目的

この文書は、すべての廊下/通路、階段および駐車エリアを含む、共有空間において歩行する際に求められることを定めたものである。

## 2 適用範囲

項目	詳細
影響を受ける現場	すべての Micron の現場
対象者	Micron のチームメンバー、請負業者、ベンダー、訪問者全員

## 3 役割と責任

役割	責任
グローバル EHS	<ul style="list-style-type: none"> <li>☑ すべての Micron サイトで本基準を利用できる状態を確保・維持する</li> <li>☑ 本基準の配布に当たって、指示、相談、指導、最低要件を規定する</li> <li>☑ サイトにおける本基準の順守状況を監視・評価する</li> </ul>
サイト EHS	<ul style="list-style-type: none"> <li>☑ 本グローバル基準を実施し、確実に効果を挙げる</li> <li>☑ Micron のチームメンバー、請負業者、ベンダー、訪問者に確実に順守させる</li> <li>☑ 不順守が見つかった場合には是正措置を講じる</li> </ul>
Micron のチームメンバー、請負業者、ベンダー、訪問者	<ul style="list-style-type: none"> <li>☑ 本基準を順守する</li> <li>☑ 期待事項を満たすように他の人たちを指導する</li> <li>☑ 本基準の不順守状態を確認して改善を推進する場合は、グッドキャッチプログラムを使用する</li> </ul>
管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>☑ 本基準で概説されている期待事項を体現した模範となる</li> <li>☑ チームメンバーが期待事項に対して責任感を持つようにする</li> </ul>

## 4 用語と定義

用語	定義
注意散漫な歩き方	他の何かに気をとられていたために、直接知覚可能な範囲にあるリスクや危険を認識できないこと。
JHA	作業危険性分析 (Job Hazard Analysis) 作業によって事故が発生する前に、危険を特定する方法として作業に注目した手法。JHA では、作業者、作業、工具、および作業環境との関係に着目する。特定された危険は排除または管理できる。
RA	リスク評価 (Risk Assessment) 設計、使用、インシデント、アクシデント、危害に関する知識および経験をもって、対象設備の特定のシナリオに関するリスクを測定する手順。リスク評価には、機器の限界値の決定、危険の特定、リスク算定が含まれる。

## 5 参考文献

表 1

内部参考資料

タイトル	リンク
Micron EHS 管理システムマニュアル	<a href="#">2W4373RQWREN-1568922467-158</a>

表 2

外部参考資料

タイトル	リンク
なし	なし

## 6 基準

### 6.1 注意散漫な歩き方

注意散漫な歩き方または非注意性盲目とは、他の何かに気をとられていたために、直接知覚可能な範囲にあるリスクや危険を認識できないことである。

モバイル機器を使っている人は、下を向いて歩いていて、周りに気がつかない。モバイル機器に集中すると、人間の周辺視野を通常の範囲の 10 分の 1 に縮めてしまい、私たちの周囲に対する注意を失わせ、自身や他の人を危険に晒すことになる。歩きながら文章を入力する人は、

- ☑ 歩きながら文章を入力しない人と比較して、60%以上の人の方が道からそれることがある
- ☑ 道路を横切るのに、最大で 20%ほど長く時間がかかる
- ☑ 左右両方を確認する回数が 20%減る
- ☑ 車にひかれる可能性が 43%高くなる

### 6.2 注意散漫な歩き方に関する期待事項

歩行中は、常に気をつけて注意をそらさないこと。Micron では、すべての廊下/通路、階段および駐車エリアでのモバイル機器の使用を禁止している。

- ☑ 歩行中は、モバイル機器を見たり、その他の注意散漫になるような行為に携わってはならない。常に前方を見て、ノートパソコン、ポケベル、電話など注意散漫にさせるものを避けること。
- ☑ 注意をそらすような電子機器や電子アイテムを使う必要がある場合、いったん停止して、通路から外れた安全な場所まで移動しなければならない（たとえばベンチや椅子に座る、壁際に寄るなど）。

### 6.3 手を使わないで操作できるデバイス

- ☑ 手を使わないで操作できるデバイスは、使用しても音声による警告や危険を知らせる音を遮らない場合は、廊下/通路、階段および駐車エリアで使用できる
- ☑ 手を使わないで操作できるデバイス（ヘッドフォン）が、音声による警告や危険を知らせる音を遮る場合は、製造区域、施設区域および工事区域では使用できない。
  - この場合、片方の耳は音が聞こえるようにふさがないようにすること。
  - 骨伝導ヘッドフォン（耳を覆ったり耳穴へ突っ込んだりしない製品）が使用可である

## 6.4 階段の歩行と手すりに関する要件

階段の利用時には危険やリスクが存在する。チームメンバー、請負業者/ベンダー、および訪問者は以下を順守すること。

- ☑ 階段の昇降時には、手すりにつかまって移動すること。階段を昇降する際に手すりにつかまると、バランスを維持できる
- ☑ 階段を使用する際には、手すりにつかまるために少なくとも片方の手を空けておくこと
- ☑ 手すりをつかむために片方の手は空いていて、運ぶ資材の重量が 6.8 キロまたは 15 ポンド以下の場合に限り、資材を持って階段を運搬できる。
- ☑ 資材が扱いにくく重い場合、または、手すりをつかむために片方の手を空けておくことができない場合は、資材運搬のためにエレベーターを使用する。
  - エレベーターを利用できない場合は、物を別の階に移動させる方法について安全に検討するために JHA/RA を完了する。
- ☑ 走らず、段を飛ばさない。
- ☑ 注意散漫な行動をしながら階段を昇降しない。
  - 階段の昇降に集中し、これ以外の行為すなわち会話や本、メールのメッセージなど気をそらす要因となるものに気を取られない。
  - モバイル機器を使用しながら階段を昇降してはいけない。
  - 階段で立ち止まり会話をしない。他の通行者の邪魔になる。

## 7 付録

なし

## 8 資料管理

項目	詳細
ECN 施設	コーポレート環境衛生安全部（EHS）
ECN 領域	EHS 全般
承認	本文書は以下によって承認される。 GLOBAL_EHS_SEAL_LT
通知	本文書に対する変更通知は、以下のとおり Micron エンジニアリング変更通知（ECN）プロセスを通じて管理される。 <input checked="" type="checkbox"/> GLOBAL_EHS <input checked="" type="checkbox"/> GLOBAL_EHS MANAGERS
レビュー	本文書は、少なくとも隔年（2年に1回）グローバル EHS により、定期文書レビュー（PDR）プロセスを通じて見直される。

## 9 改訂履歴

表 3  
改訂履歴

改訂	日付	内容	起案者
0	2015 年 04 月 07 日	<b>ECN 番号:300837838</b> 初回公開バージョン	CDOTT
1	2015 年 11 月 12 日	<b>ECN 番号:ワークフロー無し</b> 参考資料の項にリンクを追加した。中国語翻訳を繁体字中国語翻訳に変更した。	CDOTT
1	2017 年 11 月 11 日	<b>ECN 番号:ワークフロー無し</b> 定期文書レビュー変更の必要なし。	JEREMIAHMO HR
2	2019 年 10 月 17 日	<b>ECN 番号:101035917</b> 注意散漫な歩き方を追加し、階段の安全な使用をリライト <b>改訂前：</b> ☑ 文書の題名：グローバル EHS - 階段を安全に使用するための基準 ☑ 役割と責任： ○ 管理：無 ☑ 用語と定義： ○ 注意散漫な歩き方：無 ○ JHA:無 ○ RA:無 ☑ 基準： ○ 注意散漫な歩き方：無 ○ 注意散漫な歩き方に関する期待事項：無 ○ 手を使わないで操作できるデバイス：無	JEREMIAHMO HR



		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 吹き抜け階段の歩行と手すりに関する要件：既存</li> </ul> <p><b>改訂後：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☑ 文書の題名：グローバル EHS - 注意散漫な歩き方と階段を安全に使用するための基準</li> <li>☑ 役割と責任：             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管理：追加済み</li> </ul> </li> <li>☑ 用語と定義：             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 注意散漫な歩き方：追加済み</li> <li>○ JHA:追加済み</li> <li>○ RA:追加済み</li> </ul> </li> <li>☑ 基準：             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 注意散漫な歩き方：追加済み</li> <li>○ 注意散漫な歩き方に関する期待事項：追加済み</li> <li>○ 手を使わないで操作できるデバイス：追加済み</li> <li>○ 階段の歩行と手すりに関する要件：リライト</li> </ul> </li> </ul>	
--	--	---	--

以上